



滋賀県立八幡商業高等学校 同窓会報

八 商

Hachiman Commercial Senior High School Alumni Association Newsletters

平成28年(2016年)8月

第 46 号

発行：近江尚商会

滋賀県立八幡商業高等学校内
「近江尚商会」事務局

〒523-0895 近江八幡市宇津呂町10
TEL 0748-32-2072 FAX 0748-32-4052
ホームページ <http://www.shoushoukai.jp>
メール info@shoushoukai.jp

八商創立 130周年記念号

130th anniversary since 1886



昭和30年頃の八商



校 訓

- 一、自主自律
- 一、独立自尊
- 一、進取気鋭



不惑の碑



校 歌 碑



校 章 碑

母校正面

母校創立130周年 次なる飛躍を

近江尚商会 会長 松村 善作
(75回卒)



近江尚商会会員の皆さんには、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は近江尚商会活動にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて今年八幡商業高校創立130周年をむかえることが出来、会員皆さんとお祝いを申し上げたいと思います。130周年、長い歴史は先輩諸兄の築いてこられた伝統を現在の会員がいかに関継ぎ、守り、進歩をして行くか、その責任は重大であります。

急速に変化する現代社会の中で、10年ごとに開催される周年事業によってその成果を求めるのは大変困難ではないでしょうか。今後八幡商業の伝統を守り、進歩を遂げるには、5年（中期計画）10年（長期計画）の中長期計画を確立していかなければ目標達成は不可能であると思います。現在学校が取り組まれている近江商人再生プロジェクトは、今年で4年目をむかえる大事業であり、大きな成果を上げられています。一方、尚商会の活動は全国13の支部において会員の集いを中心として活発な活動がくり広げられています。

今年130周年をむかえるにあたり、次世代に繋ぐあらたなスタートをきるためにも、中長期計画を立て実現に向かって行きたいと思ひます。

ここでもう一度周年事業が如何に大切であるかを考えていただきたいと思います。周年事業の目標を達成するために生まれるエネルギーは組織の結束をより深めていくことが出来るとともに、組織の永続につながるものと確信いたします。

130周年記念式典、祝賀会の開催まであと5ヶ月と残された日数が少なくなってまいりましたが、一番重要であります寄付は目標達成に程遠く、会員皆さんの今後一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます、挨拶と致します。

21世紀の時代に ふさわしい近江商人の 育成をめざして

校長 小島 秀樹



近江尚商会の会員の皆様には、平素から、本校教育活動に多大なるご支援ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

今年は、学校創立130周年の記念すべき年でございます。

記念式典まで3カ月余りとなりましたが、尚商会の皆様方も各支部を中心に、いろいろとお取り組みいただき、厚くお礼申し上げます。

学校では、「新たな挑戦 守る文化 繋ぐ八商」をテーマに、ロゴマークは、近江商人が船に乗った姿をモチーフに、これからの八商生が、未来をたくましく切り拓いていく姿を表したものに決定するとともに、記念式典の準備等を進めております。

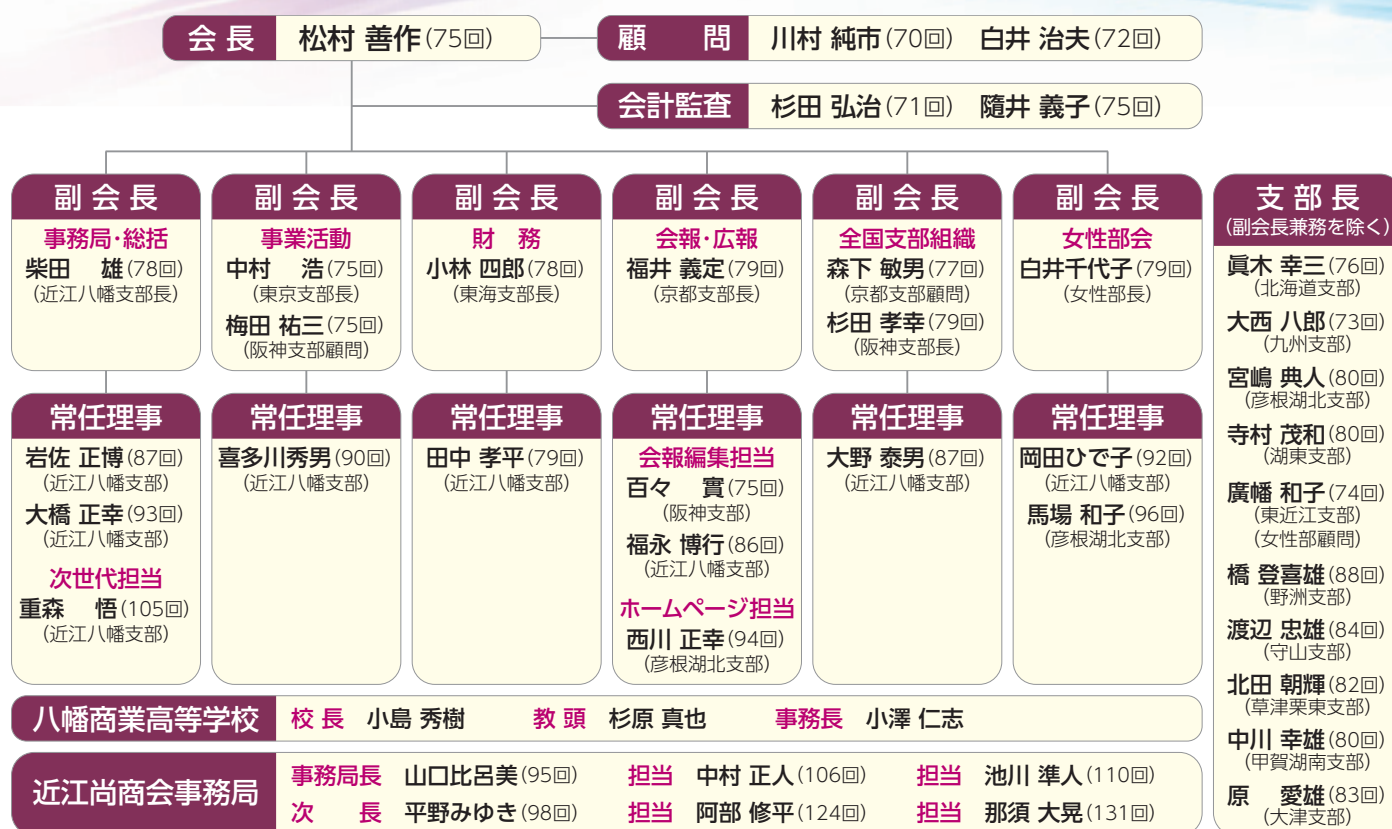
さて、私は、昨年4月の着任以来、本校の教育活動を通してめざす生徒像を、「志を高く持ち、視野を広くして、深く考えることができ、将来ビジネス社会でリーダーとして活躍できる生徒」とし、教職員、生徒に示しました。そして、今年度は、このことを実現するために、本校教育活動の特に商業教育（ビジネス教育）にかかわる部分を、「21世紀型近江商人育成プログラム」という構想にまとめました。これは、「近江商人探究プログラム」、「起業家育成プログラム」等5つのプログラムにより、21世紀社会で活躍できる近江商人を育てようとするものです。

また、今年で4年目をむかえました「近江商人再生プロジェクト」につきましては、7月21日（木）から27日（水）にかけて、金沢、長岡、前橋、桐生、富士宮等での販売実習を行い、交流を深めるとともに、東京では、東京尚商会の方々ともお会いし、色々とお話を伺うことができました。

このような様々な取り組みを通して、本校生徒が、たくましく生きる力を身につけ、将来のビジネス社会でリーダーとして活躍してくれることを期待しております。学校創立130周年の記念すべき年に、改めて輝かしい歴史と伝統を再確認するとともに、今後しっかり継承し、さらに発展する八商をめざして、様々な教育活動を進めてまいりたいと考えておりますので、ご指導ならびにご支援をよろしくお願いいたします。

平成28年度近江尚商会役員組織

平成28年4月23日現在



全国支部長会議の議題および報告事項

平成28年度の全国支部長会議は本年4月23日ホテルニューオウミにて開催され、各議題および報告事項に対し、積極的な意見交換がなされました。

なお、当日の議題および報告事項は下記のとおりです。

1. 平成28年度近江尚商会役員組織について
2. 各役員の委嘱について
3. 平成27年度事業報告
4. 平成27年度会計報告および会計監査報告
5. 平成28年度事業計画
6. 平成28年度予算について
7. 母校八商創立130周年記念事業について
8. 各支部からの活動報告

平成28年度事業計画

1. 全国支部活動の活性化(支部総会等の開催)
2. 母校(八商)創立130周年記念事業への支援活動(実行委員会にて推進)
3. 次世代委員会(100回卒業以後対象、埋もれた人材の発掘)の活動
4. 女性部会の活動
5. 会報の発行(発行日を8月1日に繰り上げ)
6. 母校教育活動への支援
7. 健全なる財政の確立
8. ホームページ開設に伴う活用促進

平成27年度 近江尚商会会計 決算報告書

(単位 円)

項 目	予 算 額	決 算 額
収 入	前年度繰越金	7,216,373
	入会金	2,350,000
	会議費負担金(懇親会徴収費用)	100,000
	年会費	1,800,000
	支援協力金	1,600,000
	寄付金(注 課題研究より)	0
	125周年記念事業会員名簿売上	0
	現金戻入(注 旅費二重出金分等)	0
	雑収入	0
	預金利息	627
	計	13,067,000
支 出	会議費	600,000
	旅費	250,000
	支部活動費 (新支部総会案内状発送負担金等)	800,000
	通信費	30,000
	リスト出力代	50,000
	事務局費	200,000
	会報費	2,700,000
	雑費	0
	近江尚商会事業費 (近江商人再生プロジェクト)	1,500,000
	事業費(母校教育活動支援金)	0
	事業費(母校130周年、女性部会)	1,300,000
	年会費振込手数料負担分	108,000
	新入会員記念品代	200,000
	母校 創立130周年記念事業準備金	4,300,000
	貸付利子(注 口座通帳残マイナス時分)	0
	予備費	0
	計	12,038,000
	収入合計－支出合計＝差引残高	1,029,000
		6,630,911

* 差引残高¥6,630,911については次年度(平成28年度)へ繰り越します。
平成28年(2016年)3月31日 近江尚商会 会長 松村 善作

八商創立130周年記念特集

伝統ということ

近江尚商会第18代会長・元校長 川村 純市 (70回卒)



今から五十年前の夏休み、私は八商創立八十周年の記念誌編纂に、三人の先輩教師とともに携わった。記念事業は、体育館とプールの建設という大事業であったが、校史を後世に残すのも大切な仕事である。八商には、昭和十六年三月に発刊された、「八幡商業五十五年史」という極めて優れた校史が残っている。滋賀県で最初の県立学校である旧制八商（県商）の誕生から、天下に名を馳せたその全盛期を克明に物語る貴重な史料である。しかし、新制高校発足からすでに二十年近くが経過したこの時期、新しい記録を残すことも亦必要なことであった。

そんな中で出会った史料の一つに、明治十九年三月十九日発布「滋賀県商業学校規則」第五章生徒心得というのがあった。これについては機会あるごとに紹介してきたところであるが、この機会に敢えて取り上げたい。ここには、本校生徒たる者これを服膺恪守すべしとして、全部で七款が掲げられている。幾つかを挙げてみると、「禮讓を重じ廉耻を励み輕躁浮薄を戒むべきこと」、「信用を厚くして詐偽を戒め公益を慮り私利を退くべきこと」、更に、「誠実勤儉を主とし妄りに時好に投ずべからざること」と続く。これらの徳目は、商業人としての心得と言うよりも、社会人一般の倫理項目であろう。そして、その根底には近江商人の堅実性という特性が、一貫して流れていることを見逃してはならないと思う。

ところで、私たちが高校在学の際発表された、小林秀雄の作品の中にこんな一節がある。「伝統の擁護だとか破壊だとか言われるが、伝統とはどうも私には、こちらの都合次第で擁護したり破壊

したり出来かねるように思われる。（中略）伝統という言葉は、習慣という言葉よりも、はるかに古典という言葉に近いと私は考えたい。」（「蘇我馬子の墓」昭和二十五年）

古典という意味は、それが、時間と空間を超えた普遍妥当的価値を持っているということである。百三十年前の戒めは今も確実に生きているし、八商の内外を問わず社会全体に高く評価されるべき価値を持っているのである。この生徒心得の精神こそは、八商の「古典」として、生徒のみならず、社会人としての卒業生も、しっかりと堅持しなければならないものである。

さて、伝統といえは、八商教育の国際性ということも忘れてはならないであろう。開校の翌年すでに外国人英語教師を招聘しているし、明治三十八年、英語教師として着任したヴォーリズ氏が八商に残した足跡は極めて大きかった。また、明治四十三年に始まる海外修学旅行（満鮮）は、昭和十三年まで、十九回に及んでいる。平成二年に新設された国際経済科の充実を梃子に、この方面での発展を期待したい。

伝統と呼べるものの中には、他に、百年を超えてなお燦然と輝く校歌があるし、落成後すでに八十年に垂んとする重厚な風格を誇る校舎がある。これらは時代を超えて、生徒を育み、卒業生の心の支えとなって生き続けているのである。

時代の変化は誠に著しい。それに対応するためにも、伝統のもつ意味を深く考えることが重要なのではなかろうか。

水郷、八商そして近江商人の町がくれたもの

たねやグループ 会長 山本 徳次 (77回卒)



八商が百三十年の歴史を途切れることなく記念すべき年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。衷心よりお祝い申し上げます。これも偏に尚商会の蔭の力あってこそと等しく敬愛の心をもって御礼申し上げます。

一口に百三十年と言いましても変わらぬ理念、商いの道を極めることを高らかに謳い上げながら校歴を継続させていくということは大変なことです。ものの三世代も経れば真相をなかなか掴めなくなるのが歴史というものではないでしょうか。ちょうど現在が敗戦の痛手を負った世代が強靱な精神のもと、したたかに生き抜いてきた世代からちょうど三代目に差しかかるという節目の時代であるのと同様に。

したたかに、しかし民主主義というものが明るく新鮮に輝いていた時代に育ち、八商にお世話になりました。八商といえば名だたる先輩諸氏を輩出した全国的にも校名を馳せた商業学校でしたが、今から思い返せばまことにおおらかで自由な雰囲気のもとに教育というものがあったのではないかと考えています。おおらかで自由ということは生徒たちの自主性を何よりも大切にしていたということでしょうか。

カメラに夢中になりました。徹底していたものです。徹底してやれるというのもやはり自由な校風から生まれてくる自主性ではないかと思えます。八商の写真部は実は私が創部したものなのです。新聞部の写真を撮り始めたのがきっかけでした。報道は迅速をもってその命としています。今日取材撮影したものは遅くとも明るく日には壁新聞として貼り出されていなければなりません。そうこうするうちに、写真部を独立して創設したというわけです。ところが、写真というものはなかなかお金がかかるものなのです。余裕がありません。部費だけではとても満足のいく写真が撮れません。家は菓子舗をしていたものですから、売上

の中からちょっと失敬してというようなこともありました。それでも焼け石に水のようなものです。そこで考えついたのが、学内で商いをするという大胆なものでした。すでにDPEの技術は暗室での徹夜をくりかえしながら習得していましたが、DPEを市価の半額で請負ったのです。これは好評でした。先生方まで利用していただいたものです。やはりどこかおおらかなところが当時あったのですね。

写真は撮りまくりました。何せ当時はまだ大中之湖が西之湖とつながっていた時代、おそらく日本一の大水郷地帯が広がっていたのですから、被写体に苦勞するということはありませんでした。様々な専門の写真雑誌などに投稿し、多くの賞をいただいたものです。

他人の子どもを可愛がり、また他人のおじさんなどに可愛がられるという親子とはまた別のおおらかな子どもと大人の関係が近年では少なくなっているようですが、私の卒業してからの最終的な進路は実はこうした他人による影響力のもとに決定したものなのです。近所に某企業の社長さんが住んでおられ、なぜか可愛がっていただき、毎日のようにその家に遊びに行っていたものです。その頃、ある大手のフィルムメーカーから入社勧誘があり、写真に関係のある仕事をしたいと思っていた矢先でもあったので、よろこんで受ける予定をし、社長さんに話したところ、言下に「家の菓子舗を継ぎなさい」と念を押されてしまったものです。その方の言により現在の私があるということです。

世の中大きく変わりましたが、八商の若者はいつもおおらか、明るく自主的で、何よりも社会に出たら可愛がられる人物になってください。

校歌にもあるように、日本一の水郷の町から前途洋洋、広い世界に漕ぎだしてください。

東京尚商会

若人不在、年老いた 方々が自己満足！！

平成27年度の東京尚商会は創立38年という長い年月を会員の皆様と共に歩んでまいりました。9月1日から翌年8月31日の事業年度、決算が終わってから会員への報告は3か月以内に行う。そのため総会は10月の終りから11月にかけて毎年行われていた。都心のホテルを会場と決め3年～4年で場所替えを行い会費は相場の10,000円と決まっていた。宇野宗祐氏が外務大臣当時の外交裏話を2度程聞いた覚えがある。大変貴重なお話なので一字一句聞き逃さないと思念に聞いた思い出が懐かしい。

その当時は会員がほとんど現役の社会人であり、財界の大御所も健在で大変威厳のある雰囲気があった。勤め人は、定年を迎えると当会の役員を卒業して年一度の総会に出てくるのが楽しみのものであった。

そして高齢化時代を迎えると、定年になり家に落ち着けない会社を退職した方々が初めて同窓会に現れて雰囲気が先輩から後輩へと繋いだものが、遅れてきた同輩と現役時代から活動していた皆さんとの考え方に幾分のズレが生じてきた。

今年は130周年行事が大々的に行われます。東京尚商会としては全力を投入する意味で11月に開催予定の「会員の集い」を今年に限り中止することを決定した。年金暮らしの方々が中経済的な負担はできるだけ少なくし今後起こると予想される年寄りの介護、闘病、家族などの問題も身近なものとなってきた。

140周年へ進むこの10年間はまさに世代交替のスピードが早まり役員・幹事など組織の若返り、会員の減少にどの様に対応していくのか残された問題が山積している。会員各位の知恵を拝借してこの大きな問題

解決に全力で取り組みたいと念じている。

平成27年度の東京尚商会は会報の発行も10号を重ね、新しく就任された小島秀樹校長先生の「八商130年の歴史と伝統の継承に向けて」の就任のご挨拶、八商の現状等基礎基本のしっかりとした実力のある生徒を育てていくとの力強い基本方針を述べていただき、130周年行事に対し支援、協力を要請された。

会報の内容については「第3回近江商人再生プロジェクト」において母校から生徒の皆さんが東北での物品販売の帰りに東京へ立ち寄り会社訪問、産物販売、先輩との交流会など多くの体験に有意義な時間を過ごした。

今年で5回目を迎えた「淡海の人交流大会」は滋賀県の高校が関東における同窓会を現在もおも維持している学校、首都圏に存在する滋賀県人会、そんな団体が一堂に会し滋賀出身のビジネスマンを応援する交流会である。品川プリンスホテルにおいて400名の滋賀県人が大いに盛り上がった。

各同好会活動もゴルフ大会、ハイキング（靖国神社、北の丸公園、東御苑散策）、バス旅行会（南房総一周）、カラオケ大会など他支部と同じように年寄りばかりの楽しい集まりであった。 中村 浩(75回卒)



東京尚商会

阪神支部

交友会を通じて

阪神支部は平成4年設立後今年で25年目を迎えます。当支部は交友会活動に力を注いでいます。本欄にて

昨年度の活動を報告します。

★漫遊会…大和郡山城跡と信貴山朝護孫子寺（4/7）：和歌山アドベンチャーワールド（10/8）★ゴルフ会…交野CC（4/24）：大宝塚GC（10/16）★グルメ会…あべのハルカス大阪マリOTTホテル57階レストランZK（ジーケー）（3/21）：ニューオータニ大阪鉄板焼けやき（10/31）★歴史散策とハイキング会…書写山円教寺と新装姫路城（5/29）：開創1200年の高野山（10/29）★カラオケ会…難波ポニータ（1/9、5/9）：梅田新地ツインクル（9/13）★時事問題研究会…理化学研究所のスーパーコンピューター「京」（4/23）：日銀大阪支店を見学（3/1）。以上6部会が毎年行っています。延べ280名近くが登録され各幹事さんの企画も良く、同窓のよしみで親睦と絆も益々深まり、小さな輪から大きな輪へと広がり参加者も増えてきました。特にグルメ会の幹事さんは全員が女性です。84回卒以降の女性の活躍は本当に頼もしく感謝しています。女性の学年幹事も18名になり、グルメ会・ハイキング会は女性の参加者が多く華やかになってまいりました。5月28日の「会員の集い」は女性コーラスで大いに会を盛り上げてくれました。今後も校友会への参加を1人でも多く呼び掛け楽しんでいただける阪神支部を築いていきたいと思っています。

杉田 孝幸（79回卒）



阪神支部尚商会

近江八幡支部

近江八幡支部年間行事スケジュール
〈2015年〉 | 〈2016年〉

◎ゴルフ（朝日野CC）

…大野泰男（090-3651-0625）

春	5月26日	6月7日 (130周年事業として)
秋	11月25日	開催予定日時未定

◎バス旅行

…福永博行（090-8794-6868）

7月4日	6月26日
六甲方面	三河湾方面

◎八幡尚商の集い

…喜多川秀男（090-8466-3753）

11月15日 | 11月23日開催決定

（今年は創立130周年記念事業として開催）

※お問い合わせは各イベント代表者まで

上記に2年間の行事スケジュールを記載しました。今年は創立130周年記念事業としてゴルフ及び尚商の集いは全国大会への参加と致します。この会報が届くころにはゴルフは終わっていますが、記念式典及び祝宴は今秋に開催されます。八幡支部は幹事の立場にあり、皆様のご出席とご協力をお願い致したく存じます。昨年同様、三つの柱を確実にかつ盛大に開催することを目標に活動し、女性・若手会員の参加しやすい支部づくりをめざします。年2回（春・秋）の支部行事であります、春のゴルフコンペを本年は6月の全国大会にて開催、6月7日の「母校創立130周年ゴルフコンペ」（朝日野CC）には全国各地より腕自慢が集結。楽しい1日を過ごしました。なお、11月には支部のゴルフコンペを予定しています。

また、恒例のバス旅行は本年7回目を迎え、6月26日に「三河湾方面」へ54名の参加のもと開催。吉良上野介でお馴染みの、吉良家菩提寺「華厳寺」で住職より法話を聞き、吉良海岸リゾートホテルでの豪華な昼食

で、更なる懇親と交流を深めました。昨秋の“八幡尚商の集い”には「ヴォーリス学園理事長池田健夫様」にご講演をいただきました。八商とヴォーリス様との関連や近江八幡市との関係等大変興味深い話をして頂きました。今年は創立130周年記念事業への参加と致します。年配の方、女性の方、若手会員を問わず多数参加していただき、全国の同朋をお迎えしようではないでしょうか。

岩佐 正博(87回卒)



近江八幡支部
GOLFコンペ 朝のスタート前風景

京都支部

創立130周年式典に 多くの結集を！

平成28年京都支部の「集い」は、2月20日「新・都ホテル」（京都駅八条口）において来賓、会員115名のご参加をいただき盛況裡に終えることが出来ました。御礼申し上げます。

席上、近江尚商会本部松村善作(75回)会長より京都支部長の委嘱状を拝受し、森下敏男(77回)前支部長から大役を引き継ぐこととなりました。

56年前、1960年（昭和35年）八商卒業直後の9月開催の京都支部第3回総会に就職したての会社職場に案内状（無料招待）が届きました。当時は、東京店で勤務していたため欠席しました。手元に残る上記の一通のハガキは、時を経て今思うに先輩、後輩の絆を導いて頂いたものであり、感慨深いものとなっています。京都支部総会は、1957年に創設され中断期間もありましたが、先輩方の母校に寄せる同窓の意識は強く、そ

の後再開され今日まで連綿と繋がっています。私たちは、たった3年の在校期間にもかかわらず、同年代はともかく先輩、後輩との絆もしっかりと繋がっていることを再認識いたしております。

30年前の100周年式典に参加させていただき、ご来賓の豪華さ、第一線の政界、財界でご活躍中の大先輩の講演等、お歴々を目の当たりにし、目を見張りただ感動するばかりであったことを思い起こしております。

奇しくも本年は、八商創立130周年式典が挙行される節目の年に巡りあわせました。京都支部は、年代別幹事が声掛けの中心となり会員の式典への参加を一丸となり推し進めていきます。

福井 義定(79回卒)



京都支部

東海支部

東海支部は10年になりました。

東海支部は、20数年前、当時の故久郷三郎支部長（45回卒）を中心に先輩方が愛知、岐阜、三重、静岡（一部）の同窓生に呼び掛けて始まったそうです。その後しばらく休会が続きましたが、当時の先輩方の思いを小林現支部長（78回卒）や当時も活躍されておられました橋本顧問（72回卒）らが受け継ぎ、2007年支部活動を再開いたしました。お陰さまで今年10年目を迎える事が出来ました。これも本部、各支部の皆さん、会員の皆様のご支援ご協力のお陰だと感謝致しております。現在この地区の会員は170名弱（125周年名簿）です。男性会員の高齢化と女性会員の割合が増えているのが特徴

支部だより

ですが、会員同士の絆、親睦を今後も深めて行きたいと思っています。

支部の活動の主たるものは毎年開催の「会員の集い」です。毎回その内容を意義あるものと知恵を絞っております。今までの内容としては、母校のブラスバンド部の演奏、会員のマジックショーや玄人はだしの楽器演奏、映画「てんびんの詩」鑑賞、文化人の講演するなど、尚商会会長、学校長から八幡商高の現況等のお話も。もちろん深尾勝義氏（81回卒）の江州音頭は欠かせません、天八魂は最後の締めです。全体の参加者が増えれば、もっと中身を濃く楽しく出来ると考えております。同好会は現在はゴルフ会（今年は5月24日こぶしCCにて開催）のみですが、全体の参加人数がもう少し増えれば種々開けると思います。

今年の「会員の集い」は例年より早めの9月18日（日）開催予定です。総会に続き、映画「てんびんの詩」の第2部を上映予定です。主人公が八商に入学し成長してゆく姿には感動させられます。皆さん、今年も元気に「校歌」を歌って楽しい集いに致しましょう。（他支部会員参加大歓迎）

山川 郁夫(79回卒)



東海支部

東近江支部(鈴峰尚商会)

平成28年度総会を終えて

6月11日（土）八日市ロイヤルホテルにおいて校長先生、松村会長のご出席を得て総会を開催いたしました。

恒例により、事業・会計報告の承認を得て総会を終了し、続いて滋賀県文化財保護課城郭調査事務所副主

幹松下浩氏による「観音寺城と佐々木六角氏 ～近江の中世戦国時代について～」の講演を戴きました。私共の住う地域の身近な歴史をとご配慮くださいました。改めて、身近な史跡を訪ねたいとの思いを強くいたしました。

今年の研修旅行は余呉を予定しており、封建時代に自治を貫き、とりわけ女性からも三下り半を出せたという歴史に期待しています。

ところで鈴峰尚商会は名の通り鈴鹿のふもと、八日市、永源寺、愛東、湖東を中心とした地域の会員で作られておりますが、これを東近江支部へと本部の要請もあり、大きな課題を抱えております。

皆様のご協力とそれぞれのお立場でのご尽力が得られますようお願いいたします。

廣幡 和子(74回卒)



東近江支部

大津支部

残念ですが支部単独での活動は一切していません。

草津、栗東支部及び守山支部との合同でも、大津支部の参加人数は常に3～4名です。支部会員の方々の参加を切に望んでおります。

原 愛雄(83回卒)

草津栗東支部

近江尚商会草津栗東支部の活動を顧みると、浅野支部長のもとで、第1回総会には白井治夫会長のご臨席をいただき盛大に開催されました。このときの講演は元会長の川村純市

氏によります「八商四方山話」と題してご講演を頂きました。以後イベントは母校のブラスバンド部の生演奏会、八商なんでもクイズ、マジックショー、スライド「近江商人再生プロジェクト」をやってまいりました。当支部単独での校友の集いは4回開催し、一昨年から湖南ブロックとして大津・守山支部と合同でスタートいたしました。今年で3回目の「湖南ブロック校友の集い」を10月2日（日）開催いたします。昨年の集いでは草津栗東支部で6回皆出席と1回欠席の校友の方々10数名に支部長賞として、ささやかなプレゼントをいたしました。またブラスバンド部へ激励金を贈呈しカラオケなどで楽しいひと時を過ごしました。支部長の活動は全国支部長会議、当ブロックの開催、近江八幡支部、東海支部、野洲支部、京都支部の集いに夫々参加いたしました。どの支部も素晴らしい企画に、感銘いたしました。支部活動の予定は毎年6月常宿としている大津湯元館で校友が昔を語り合う会を、7月にはゴルフコンペそして前述のとおり10月にはブロックの集いを開催いたします。また本年は八商創立130周年です。11月23日には講演会や祝賀会が予定されています。伝統ある母校の祝い事に当ブロックから一人でも多くのご参加を切にお願いします。

北田 朝輝(82回卒)



草津栗東支部

守山支部

湖南ブロック第2回
校友の集い

平成27年11月14日大津支部、草津栗東支部、守山支部の三支部合同、湖南ブロック第2回校友の集いを盛大に開催する事が出来ました。

小島八商校長先生、松村近江尚商會會長、柴田副會長、小林副會長、白井副會長（女性部長）のご出席もいただき、そして三支部より40名の校友が集っていただきました。楽しい食事と久しぶりの再会で会話が弾みました。

八商プラスバンド部の生演奏で出席者全員感動と感銘を受けました。プラスバンド部の顧問の先生、部員のみなさん、器材等の搬入で大変ご苦勞をおかけしました。ありがとうございました。今回、前草津栗東支部長の浅野恭司先輩の同期で、竹村喜太郎先輩が勤務されていたヤンマーで、テレビコマーシャルのヤン坊、マー坊の曲を作ったのは“私だ”そしてサッカー選手で有名な釜本選手をヤンマーに引っぱって来たのも“私だ”と言っておられ、私の閉宴の挨拶でエピソードを披露したところ、驚きの声と、大きな拍手をいただきました。

渡辺 忠雄(84回卒)



守山支部

湖東支部

世代を超えた交流で
盛り上がり

昨年11月8日、愛荘町の「近江商人亭」で、松村善作近江尚商會會長、4月に赴任された小島秀樹校長、山口事務局長のご出席を賜り、第4回湖東支部総会を開催しました。

近江商人亭は現当主（82回卒）の先代が、愛知川の豪商の一つ旧田中家「田源商店」の住宅を譲り受け、旬の湖魚や近江の伝統野菜を使った料理を提供する、日本料亭として開業されました。

この建物は、国登録有形文化財に指定され、閑静でわびと気品に満ちたたたずまい。回遊式の美しい庭園を眺めながらのゆったりとした風情は、正に至福のひと時を感じさせてくれます。

この素晴らしい会場に、会員22名が参加して総会が始まりました。

会は声高らかに校歌の斉唱で始まり、続いて松村會長から、わが母校が平成28年に創立130周年を迎えるにあたり、式典の開催日と記念事業についての協力や、当支部に「次世代担当」と「女性部会担当」の設置のお願いがありました。

小島校長からは、学校案内「天八魂」による在校生の様子や、女子バレーボールが県大会を制し2大会連続の全国大会出場を決めたことなど、嬉しい報告がありました。

その後は、杯を交わしながら支部ならではの年齢を超えた交流が始まり、八商時代の思い出話、応援歌や天八魂の大合唱などで会場は大変盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

今後も、支部会員の交流と懇親を深める場となることを願い、総会の幕を閉じました。

寺村 茂和(80回卒)

彦根湖北支部

昨年3月、支部総会をホテルサンルート彦根で開催して以来、早いものですでに1年数カ月が過ぎてしまいました。会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと、お喜び申し上げます。近くに居りながら、お会いする機会も十分作れず申し訳なく思っております。

本年11月23日（水・祝）には、母校八商の創立130周年式典が行われます。本部より会員多数の皆様の参加依頼がまいっております。支部皆様のご参加により式典・懇親会を大いに盛り上げられるよう、ご協力宜しくお願い申し上げます。

◎同好会活動報告

ゴルフ同好会

昨年11月26日第3回日野カントリーに続き、本年5月11日はあいにくの天候になりましたが第4回を名神竜王カントリーで開催しました。今回は、10月12日を予定しています。同窓の仲間で行うゴルフもまた楽しいものです。（スコア順位は上位入賞者には申し訳ありませんが都合により報告省略）

◎次回彦根湖北地区総会

次回総会は、平成29年3月に開催を予定しており、皆様のご参加を宜しくお願いします。

宮嶋 典人(80回卒)



彦根湖北支部

支部だより

甲賀湖南支部

当支部は昨年来、第2回総会の準備をし、本年5月21日に開催予定でした。

前回は参加者が11名でしたが、今回はちょっと念入りに準備したので、まあ15名位にはなるだろう、うまくいけば20名位と予測しておりました。

ところがフタをあけたら会員の参加予定は5名でした。

そこで急遽、役員会をもちました。そもそも会長や校長にわざわざ御出席頂いて、支部の出席者が役員を含め8名では、とてもさまにならないし、とりわけ参加した一般会員がガッカリするだろうということで、今回は中止することに決定しました。

松村会長はあきれておられるでしょうね。すみません。

以上のとおりで当支部の活動としては、開催のための役員会と中止決定のための役員会に尽きることになります。

来年は先輩支部の御指導を頂き、その経験を参考にして、充実した総会を必ず実現する覚悟です。

それにしても同窓会活動の厳しい現実と、会長以下役員の方々の御苦労を知り、あらためて敬意を表する次第です。

中川 幸雄(80回卒)

野洲支部

野洲支部の皆様と 楽しいひと時を

近江尚商会の皆様、ごきげんよう。

前回の投稿でお知らせした野洲支部交流会を今年1月30日(土)に開催させて頂きました。その運営、開催までの様子をお話したいと思います。

まず開催日より3ヶ月前から、当支部の副支部長をお受け頂いた女性の方と素案を練りました。当日多く

の支部会員に参加いただくにはどうすれば良いか検討致しました。返信宛名には女性のお名前と決めて案内状作成に入り、次に当日会場、ご来賓の方々、余興そして中締めと交流会の一日の流れを作り、新たに男性支部役員も加わり検討し、このような流れが一番皆様に楽しんで頂けるのではないかと決定頂きました。

皆様に案内後、返信ハガキが少しずつ到着し始め、その中には“ありがとう”とハガキにあり、友と会うのが楽しみですと。又友達の欠出確認の電話連絡があり、“楽しみに参加させてもらいます”と話されていました。

交流会当日、早くから役員全員会場に集まりご参加の皆様をお迎えする準備を整え、お待ちしました。準備したテーブル席が次々と埋まっていき交流会のスタートです。

司会者より記念写真撮影の案内があり、近江尚商会松村会長、小島校長を真ん中に、白井顧問、そして近隣の支部長、その周りに出席会員、役員全員が一枚の写真に納まりました。ご覧頂きたいと思います。

次に校歌斉唱は女性役員を前に参加者全員で歌いました。松村会長、小島校長よりご挨拶頂き、白井顧問による乾杯のご発声で開宴致しました。和やかなうちに、しの笛の優しい音色の演奏に耳を傾け聞き入ってくださいました。時が進むのは早く、中締めの案内となり、在学中卓球で名を馳せた男性支部役員と当時国体まで行った女性会員の活躍の話を混じえ滞りなく楽しいうちに締めて頂きました。ご参加くださいました皆様に深く役員一同感謝致しております。ありがとうございました。

今後野洲支部がますます楽しい支部と成ります様、皆様のお力添えをお願い申し上げましてご報告と致します。次回もまたお元気で出会いできることを願い御礼と致します。“ではさようなら”

橋 登喜雄(88回卒)



野洲支部

北海道支部

北海道もようやく 春らしくなってきました。

さて、北海道支部の活動ですが、北海道内在住の方々に、電話または会ったりしておりますが、皆様、年齢も高くなり、ほとんどの方々が思うように動くことが出来ず、今年も残念なことに活動しておりません。

しかし130周年の事もあり、自分が出席して、その報告を兼ねた集まりを、来春2月頃までに開催する予定です。

眞木 幸三(76回卒)



「母校創立130周年記念 親睦ゴルフコンペ」の開催

母校創立130周年記念親睦ゴルフコンペが、去る6月7日（火）に滋賀県東近江市の朝日野カントリークラブで開催されました。

参加者には65回卒の大先輩や、遠方では関東方面からの出席者など多数が参加され、総勢105名による同窓の絆を深めました。

プレー後の表彰式は全員が物故者に黙祷後、校歌を高らかに斉唱して始まりました、成績発表では名前が呼ばれるごとに一喜一憂の声が上がり、特に成績上位の発表時には最高

潮に盛り上がりました。

結果、優勝は高田昌彦さん（76回卒）、準優勝は田崎宏さん（81回卒）、3位は中江正直さん（81回卒）でありました。

また、今回は松村会長（75回卒）から優勝カップと豪華景品の寄贈、柴田副会長（近江八幡支部長、78回卒）からも豪華景品の寄贈をいただき、特別賞として該当者に贈呈、また中川信男さん（71回卒）からは自筆の絵画をいただき、女性の成績トップの青山美智子さん（93回卒）に贈呈しました。

なお、今回は参加賞として八商PTAが企画された「130周年記念グッ

ズ」の中から背中に「天八魂」のロゴ入りのTシャツをお渡ししました。

実行委員長 大野 泰男（87回卒）



八商創立130周年記念 絵画を寄贈

八商創立130周年を迎えるにあたり、母校への思いを込めた絵画を寄贈されました。

■寄贈者 石野正義 氏（第82回卒）（阪神支部）

■作品 『悠久の歴史』（F80号 160cm×120cm）

ユネスコ世界遺産である屋久島（鹿児島）で、樹齢数千年にもなる屋久杉の大木を描かれた作品。

130周年を超え、さらに未来永劫にわたり成長し続ける母校になぞらえ選定。

■設置場所 母校玄関ホール

毎日多くの生徒が通行する場所であり、来客の玄関口である本館玄関ホールに設置。



石声人語

八
商
四
方
山
話

●不惑の碑

本校前庭にある最古の石碑。旧水口藩出身、安政元年生、明治37年から大正15年まで22年間に亘り、本校で漢文を担当された平瀬光慶先生の揮毫。「不惑」の2字に、古聖人に譬えられた先生の風格が偲ばれる。

●青石

本校新校舎が完成したばかりの昭和14年当時、在校生は夏休みといえども校地整理や勤労働員に明け暮れていた。折から自転車部隊を編成し、12km離れた愛知川中流に到り、青石

を採取、こもに巻いて持ち帰り、校庭整備に役立てた。今もこれらの青石はしっかりと手を繋いで並んでいる。

●校歌碑

本校創立100周年を記念して建立。本校第37回卒、伊藤忠商事（株）の重鎮、第14代近江尚商会会長越後正一氏寄贈。材質は桜御影、重さ10t、八商磐石を象徴する。歌詞揮毫は本校第59回卒辻川恭裕氏。

●徳門桜の碑

校歌碑の傍らに「徳門桜」なる碑がある。これは旧八幡高等女学校旧

校舎生徒通用門上に掲げられていた「徳門」の扁額に由来する。同校比年礼同窓会が本校創立100周年を記念して植えられた枝垂れ桜が今も校歌碑に優しく花を添えている。

●尚商の碑

平成14年11月、近江尚商会創立110周年を記念して建立。「尚商」の揮毫は本校第58回卒、第17代近江尚商会会長古澤芳郎氏による。その力強い筆勢をしばし仰視するも又よし。

杉田 弘治（71回卒・現八商講師）

Column

母 校 の 現 状

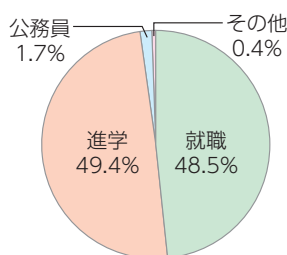
* 本会報に掲載の内容は学校案内(2016年度版)に掲載されたものです。
(各表での数字は生徒数です)

平成28年度生徒数

	1 年			2 年			3 年			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
商 業 科	44	116	160	60	100	160	47	112	159	151	328	479
国際経済科	10	30	40	10	29	39	10	30	40	30	89	119
情報処理科	21	20	41	15	24	39	17	21	38	53	65	118
合 計	75	166	241	85	153	238	74	163	237	234	482	716

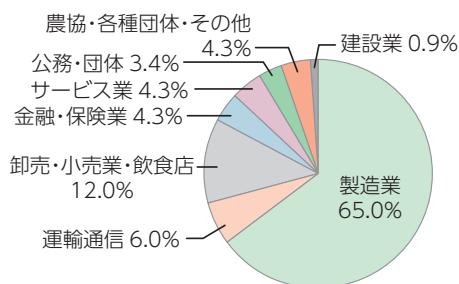
平成27年度卒業後の進路状況

進 路 状 況



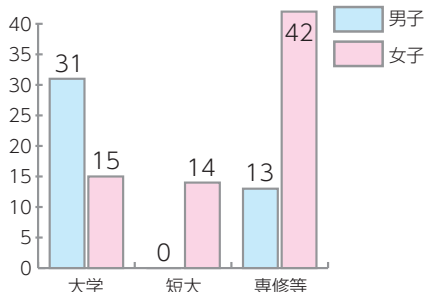
	就職	進学	公務員	その他	合計
男子	34	44	3	0	81
女子	79	71	1	1	152
計	113	115	4	1	233

業 種 別 内 定 状 況



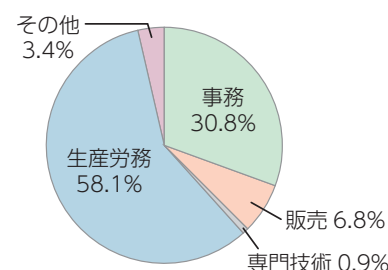
	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信	卸売・小売業・飲食店	金融・保険業	サービス業	医療・福祉	公務・団体	農協・各種団体・その他	合計
男子	1	29	0	2	1	0	1	0	3	0	37
女子	0	47	0	5	13	5	4	0	1	5	80
計	1	76	0	7	14	5	5	0	4	5	117

進 学 状 況



	大学	短大	専修等	合計
男子	31	0	13	44
女子	15	14	42	71
計	46	14	55	115

職 種 別 内 定 状 況



	事務	販売	専門技術	生産労務	その他	合計
男子	3	0	0	32	2	37
女子	33	8	1	36	2	80
計	36	8	1	68	4	117

過去3年間の主な就職先

DOWAサーモエンジニアリング株式会社
THK株式会社
TOTOサニテック株式会社
TOTO株式会社滋賀工場
アイリスオーヤマ株式会社
アインズ株式会社
アキレス株式会社滋賀工場
浅野運輸倉庫株式会社
旭化成住工株式会社
旭化成せい株式会社守山支社
アストラゼネカ株式会社米原工場
アヤハ運輸倉庫株式会社湖東営業所
いすゞ自動車近畿株式会社
医療法人緑和会
岩村養鶏株式会社
エヌディーシー株式会社蒲生ゴルフ倶楽部
エンゼルプレイングカード製造株式会社
ホテルニューオウミ
株式会社金陽社関西事業部
株式会社大成システムセンター
蒲生町農業協同組合
カルビー株式会社中日本事業本部
キャノンマシナリー株式会社
京滋ユアサ電機株式会社
京都府警察
草津市職員
グリーン近江農業協同組合
コイズミライティング株式会社
湖東タックス株式会社
コマツキャブテック株式会社
(財) 青樹会八幡青樹会病院
三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
滋賀県警察
滋賀県職員
滋賀県信用組合
滋賀センコー株式会社
滋賀特機株式会社
住友電工プリントサーキット株式会社
象印ファクトリー・ジャパン株式会社
ダイハツ工業株式会社滋賀工場
立川ブライド工業株式会社滋賀工場
塚喜商事株式会社
東海旅客鉄道株式会社関西支社
東洋化学株式会社
トーア株式会社彦根工場
独立行政法人国立印刷局彦根工場
トヨタ自動車株式会社
トラスコ中山株式会社
中野電機株式会社八日市工場
中村歯科医院
ナカ工業株式会社滋賀工場
ニチコン草津株式会社
日本精工株式会社石部工場
日本精工株式会社大津工場
日本郵便株式会社近畿支社
ネグロス電工株式会社
パナホーム株式会社本社工場
ピー・アンド・ジー株式会社滋賀工場
東近江行政組合消防職
東びわこ農業協同組合
彦根市職員消防局
日野川流域土地改良区
ブーマージャパン株式会社
藤本製菓株式会社
フリックイン福井株式会社アズイン
古河AS株式会社
紅忠コルセンター関西株式会社滋賀工場
北斗産業株式会社
ホシデンエフ・デイ株式会社
マルホ株式会社彦根工場
三重河内株式会社滋賀工場
三菱日立ツール株式会社野洲工場
宮川化成工業株式会社
ムラテックメカトロニクス株式会社
有限会社長谷美容室
ユニキャリア株式会社滋賀工場
陸上自衛隊
栗東市農業協同組合

竜王町職員
ワコール流通株式会社
医療法人恒仁会近江温泉病院
株式会社CMCSolutions
株式会社アイゼン
株式会社アグレアール
株式会社旭金属工業所滋賀工場
株式会社あさひや
株式会社イシダ滋賀事業所
株式会社イトーキ
株式会社ウェーブ
株式会社永楽屋
株式会社エフアイ
株式会社オーケーエム
株式会社大長
株式会社オート・ハンズ
株式会社尾賀電
株式会社カネ吉ヤマモトフーズ
株式会社京都ホテル
株式会社サンキコー
株式会社ジェイ・イー・ジェイ
株式会社ジュニア
株式会社ダイゴ
株式会社田中屋
株式会社たねや
株式会社ツバエレクトロニクスプロダクツ
株式会社ナイク彦根工場
株式会社ナカサク
株式会社ナカザワ
株式会社ニューヨーク・ニューヨーク
株式会社ヒトミワイナリー
株式会社ひょうたんや
株式会社ファンケル美健滋賀工場
株式会社ボーンフリー
株式会社村田製作所野洲事業所
株式会社ユニクロ
株式会社八日市自動車教習所
株式会社ロッテ滋賀工場
株式会社関西オークラ
株式会社京都駅前光デパート
株式会社三和鉄工
株式会社滋賀銀行
株式会社平和堂
株式会社北川建設
丸中製麺株式会社
宮川化成工業株式会社
京セラSLCテクノロジー株式会社
京セラ株式会社滋賀蒲生工場
京栄ニチュ株式会社
共栄工業株式会社京都工場
近江鉄道株式会社
金属技研株式会社滋賀工場
湖東信用金庫
呉羽テック株式会社
佐川印刷株式会社
山崎製パン株式会社
滋賀三菱農機販売株式会社
滋賀小林精工株式会社
滋賀積水樹脂株式会社
滋賀中央信用金庫
社会福祉法人雪野会
伸和株式会社
新神戸電機株式会社彦根工場
森トラスト・ホテル&リゾート株式会社
泰食品株式会社
帝産観光バス株式会社京都支店
天馬株式会社滋賀工場
東レ株式会社滋賀事業場
日光機器株式会社
日本紙管工業株式会社滋賀工場
肥田電機株式会社滋賀工場
富士シート株式会社滋賀工場
有限会社駒吉
有限会社島田家具工芸
有限会社竜王興産

過去3年間の主な進学先 (大学)

* 短期大学、専修学校は誌面の関係で省略しました。

名古屋市立大学
滋賀大学
同志社大学
立命館大学
関西大学
関西学院大学
龍谷大学
京都産業大学
名城大学
関西外国語大学

鹿屋体育大学
産業能率大学
大阪経済大学
大阪観光大学
近畿大学
京都外国語大学
名古屋外国語大学
京都ノートルダム女子大学
大阪産業大学
追手門学院大学

大阪商業大学
京都学園大学
聖泉大学
福井工業大学
京都文教大学
京都橘大学
大阪学院大学
びわこ学院大学
京都精華大学
中大大学

藍野大学
日本大学
帝塚山大学
平安女学院大学
京都造形芸術大学
京都華頂大学
びわこ成蹊スポーツ大学
愛知学院大学
京都女子大学
岐阜経済大学

大谷大学
花園大学
奈良学園大学
同朋大学
桃山学院大学
大阪電気通信大学
成安造形大学
大阪成蹊大学

母校の活躍ぶり

豊かな人間性をめざして頑張っています。
* 本会報に掲載の各部の実績は平成28年6月時点の結果です。

クラブ入部状況

(平成28年6月1日現在)

文化 部	部員数	運 動 部	部員数
新 聞	22	陸上競技	41
ブラスバンド	33	硬式野球	85
演 劇	11	サッカー	73
美 術	27	女子サッカー	35
放 送	21	ソフトテニス	23
E S S	12	バレーボール	33
簿記珠算	47	バスケットボール	43
写 真	22	ソフトボール	16
家 庭	60	卓 球	10
コンピュータ	10	剣 道	15
ワープロ研究	19	ボ ー ト	28
環境科学同好会	4	カ ヌ ー	21
ビジネス研究同好会	28	計	423
計	316		

新 聞 部

高文連生徒研修会に参加、選挙権が満18歳以上に引き下げられたことと関連して、選挙管理委員会の方の話を聞いたり、びわこホール、危機管理センター、滋賀県庁を取材して新聞を作成しました。

ブラスバンド部

部活動に励めることに感謝し、技術面ともに成長できるように、部員33名で日々の練習を頑張ります。

演 劇 部

湖南・湖東ブロック合同演劇大会にて、「深呼吸」を上演しました。これまでの劇の内容とは異なり、観客のみなさんに劇の意味合いを考えてもらう内容にしました。観客からは大きな拍手と声援をいただきました。

美 術 部

私たちは先輩・後輩関係なくみんなで楽しく絵を描いたり色んなコンクールに作品を出したりして活動しています。

放 送 部

高校野球滋賀大会の球場アナウンスや体育祭などの行事で、美声を響かせて活躍しています。

E S S

新入部員2名を迎え、英検の学習やDVD鑑賞、シュリース先生との会話など楽しく活動しています。

各文化部の活動状況

簿 記 珠 算 部

第63回滋賀県高等学校珠算・電卓競技大会

珠算競技

団体：優勝（全国大会出場権獲得）

個人：優勝 2位 3位

電卓競技

団体：優勝（全国大会出場権獲得）

個人：優勝 2位 2位

写 真 部

京阪電車石坂線沿線で春季合同撮影会を実施しました。本校は三井寺～日吉大社を中心に撮影に取り組みました。

家 庭 部

茶道班・華道班に分かれて活動中。それぞれのお稽古に加えて、調理や手芸、保育実習など幅広く取り組んでいます。

コンピュータ部

滋賀県高等学校情報処理競技大会

団体の部：優勝（全国大会出場権獲得）

個人の部：準優勝 第3位

ワープロ研究部

●近畿地区高等学校ワープロ競技大会

団体の部 第9位

個人の部 第14位

●滋賀県高等学校ワープロ競技大会春季大会

団体の部 第3位

個人の部 全国大会出場権獲得

環境化学同好会

美化を意識した掲示物の作成やゴミ拾い活動を続けるとともに、野菜を育てたりしながら楽しく活動しています。

ビジネス研究同好会

今年も7月に28名が「近江商人再生プロジェクト」のメンバーとして、北陸や北関東で仕入・販売実習を行います。

各運動部の健闘結果

陸上競技部

春季総体

女子4×100mリレー 第8位
女子走幅跳 第7位
女子5000m競歩 第6位

硬式野球部

H28春季県大会

一回戦 本校 12-1 八日市南
二回戦 本校 4-2 野洲
三回戦 本校 1-7 北大津

サッカー部

春季総体

2回戦 本校 0-5 水口

女子サッカー部

春季総体

決勝戦 本校 1-0 国際情報高校
滋賀県代表として近畿大会へ出場

ソフトテニス部

春季総体

団体戦
2回戦 ③-0 立命館守山
3回戦 ②-1 彦根西・翔西館
準々決勝 ②-1 水口
準決勝 0-② 堅田
3位決定戦 ②-1 草津東(近畿大会出場)

バレーボール部

春季高校総合体育大会

決勝トーナメント
本校 25-12 北大津
25-8
本校 25-14 草津東
25-15
準決勝 本校 25-23 水口
9-25
17-25
ベスト8

バスケットボール部

春季総体

2回戦 本校 77-56 虎姫
3回戦 本校 83-48 彦根翔陽
準々決勝 本校 73-62 大津
準決勝 本校 46-80 近江兄弟社
3位決定戦 本校 37-63 草津東
近畿選手権大会出場

ソフトボール部

春季総合体育大会

1回戦 本校 10-3 玉川 (6回コールド)
2回戦 本校 0-9 比叡山(5回コールド)

卓球部

春季総体

団体戦 2回戦
本校 2-3 長浜北星高等養護学校

剣道部

春季総体

男子団体
1回戦 本校 2-③ 彦根工業高校
(1回戦敗退)
女子団体
2回戦 本校 ②-1 光泉高校
3回戦 本校 ②-1 比叡山高校
準決勝 本校 0-⑤ 草津東高校
(準決勝敗退)
(ベスト4 滋賀県代表として近畿大会へ出場)
男子個人 ベスト32
女子個人 準優勝
(滋賀県代表として全国大会へ出場)
ベスト16

ボート部

【朝日レガッタ】

女子 舵手付クォドルプル A 予選敗退
B 予選敗退
女子 ダブルスカル A 第5位
B 準決勝敗退
男子 ダブルスカル 準決勝敗退
男子 シングルスカル 準決勝敗退

【春季総体】

女子 舵手付クォドルプル A 第2位
B 第6位
女子 ダブルスカル 予選敗退
準決勝敗退
女子 シングルスカル 第2位
第3位
第5位
男子 ダブルスカル 第4位
男子 シングルスカル 第2位

【近畿高校総体】

女子 舵手付クォドルプル A 第2位
B 予選敗退
女子 ダブルスカル 準決勝敗退
男子 ダブルスカル 準決勝敗退
男子 シングルスカル 準決勝敗退

カヌー部

春季総合体育大会

男女総合 第2位
男子総合 第2位
女子総合 第3位
男子カヤックペア 第1位
男子カヤックシングル(ジュニア) 第1位
男子カヤックペア(ジュニア) 第1位
女子ポロシングル 第1位

チャレンジHASSHO! (八商) 「近江商人再生プロジェクト」の概要

- 近江商人の足跡を訪ね、近江商人の子孫や卒業生との交流を深める。
- 訪問先で県特産物の販売を行い、また、訪問先の特産物を持ち帰って販売することを通して近江商人の三方よしの「売り手よし、買い手よし」を経験する。
- さらに、三方よしの「世間よし（社会貢献）」の体得のため、収益金の寄付など有効活用を図る。

❖ 第4回 近江商人再生プロジェクト 行程案 ❖



近江商人再生プロジェクト
八商キャラクター
『てんぱちくん』

月 日	行 程
1日目 7/21(木)	近江八幡発……………小松着 【販売実習】 小松発……………金沢着 【仕入実習】 金沢泊
2日目 7/22(金)	【金沢市内販売実習・金沢大学連携】 金沢発…長岡着 【仕入・販売実習】 【長岡商高交流】 長岡泊
3日目 7/23(土)	長岡発……………前橋着 【午前：前橋商業交流会】 【午後：前橋市内販売実習】 ……………前橋泊
4日目 7/24(日)	【前橋市内仕入実習】 前橋発……………桐生着 【企業研修・販売実習】 桐生発……………秩父泊
5日目 7/25(月)	【企業研修・販売実習】 秩父発……………東京着 【東京尚商会交流会】 東京泊
6日目 7/26(火)	【企業訪問・企業内販売実習 ※富士宮市「高校会議所」と連携 （伊藤忠、丸紅、西川産業） 東京発……………富士宮着 【富士宮市内販売実習】 富士宮泊
7日目 7/27(水)	富士宮発……………近江八幡 帰着

※行程については、今後、相手先との状況により変更になることがあります。

八商創立130周年記念事業について

平成28年(2016年)11月23日(祝)

記念式典・記念祝賀会

記念式典について

於 近江八幡市文化会館
受付 9:00 ~
催事等 9:00 ~
式典開始 10:00 ~
記念講演 下記を参照

記念祝賀会について

於 ホテル ニュー オウミ
※事前申込が必ず必要です。
受付 12:00頃 ~
祝賀会開始 13:00頃 ~
参加費 10,000円(当日徴収)



記念講演について(記念式典後に実施)

講師 朝原 宣治(あさはらのぶはる)さん
大阪ガス株式会社(近畿圏部地域活力創造チームマネージャー)
2008年 北京五輪 陸上競技 銅メダリスト

テーマ 「夢の実現に向けて高校生に贈るメッセージ」

※夢の実現に向けて努力することの大切さなど、高校生が前向きに物事を考え、元気になるお話をさせていただき予定です。

新たな挑戦 守る文化 繋ぐ八商 八商創立130周年記念事業



記念事業について

八商の学習環境の一層の充実を図るため「最新の情報処理機器の充実」を行う

その他 ●八商の教育活動の支援

●記念誌DVDの制作 など

募金のお願い

記念事業を実施するにあたっては、みなさまのご支援・ご協力が必要です!

募金目標額 3,000万円

現在の状況 約1,100万円(6月10日現在)

※現在のところ、目標額にはまだ及ばない状況にあります。

まだ募金をしていただけてない方は、是非、ご協力をお願いいたします。

すでに募金をしていただいた方は、現状をお考えいただき、

可能であれば、再度、ご協力を賜われれば幸いです。(1口5,000円です)

何卒、よろしく願いいたします。

編集後記

本年度の同窓会報「八商」は母校八商の創立130周年記念号として、例年に比し4ページ増の16ページ建てで、発行も2か月早くすることになりました。内容につきましては先輩の方々をはじめ母校八商にも大変ご協力をいただき、今日皆様にお届けすることができました。

八商創立130周年の記念すべき年、歴史と伝統を誇る道を振り返るとともに、母校の更なる発展を祈りたいと思います。最後にご寄稿いただいた皆様に感謝の意を表し後記と致します。(百々)

編集委員

委員長 百々 實(75回) 阪神支部
委員 杉田 弘治(71回) 野洲支部

委員 杉田 孝幸(79回) 阪神支部
委員 福井 義定(79回) 京都支部

委員 福永 博行(86回) 近江八幡支部
委員 岡田ひで子(92回) 近江八幡支部